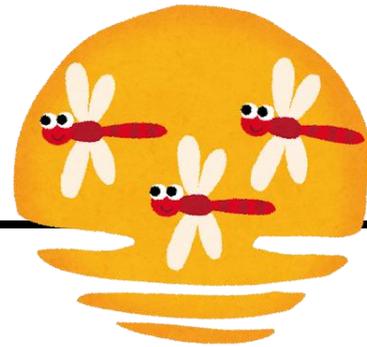


薬剤部だより

No.2024-014

熊本労災病院 医薬品情報室
Tel : 0965-33-4151 内線 : 405



<薬事委員会 審議結果のお知らせ>

9月19日、薬事委員会開催分。

採用薬品は、令和6年10月7日（月）より、使用可能。

※効能・効果、用法・用量等の詳細は、添付文書をご確認ください。

◆本採用医薬品

薬品名・規格	薬価	メーカー
1. セフェピム塩酸塩静注用 1g「サンド」 (効) 一般感染症、発熱性好中球減少症 (用) 詳細は、添付文書を参照ください。 ※ファーストシン静注用 1g の出荷停止の為。 ファーストシン静注用 1g 在庫終了の後、採用削除として、採用切り替え。	522.00 円/V	サンド
2. ブドウ糖「フソー」 (効) ①経口の栄養補給、②ブドウ糖負荷試験。 (用) ①必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与。②1回 50～100g を経口投与。年齢、体重により適宜増減。 ※低血糖の予防として、医師が処方する為。	0.80 円/g	扶桑薬品

外来患者への処方として使用。
入院患者へは、引き続きメーカーからの
無償提供分を利用します。

◆診療科限定採用医薬品（消化器内科・外科）

薬品名・規格	薬価	メーカー
1. ビロイ点滴静注 (効) CLDN18.2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌 (用) 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、初回は 800mg/m ² を、2回目以降は 600mg/m ² を 3週間間隔、又は 400mg/m ² を 2週間間隔で 2時間以上かけて点滴静注。	54,502.00 円/V	アステラス

◆診療科限定採用医薬品（脳神経内科・脳神経外科）

薬品名・規格	薬価	メーカー
1. フィコンパ点滴静注用 2mg (効) 一時的に経口投与ができない患者における下記の治療に対するペランパネル経口製剤の代替療法 ①てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）②他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法 (用) 詳細は、添付文書を参照ください。 ※フィコンパ細粒の院内採用を削除し、院外限定採用へ切り替え。 フィコンパ錠 2mg の院内採用あります。簡易懸濁可能。	1,962.00 円/V	エーザイ

◆その他のお知らせ

1. 販売中止

①アリナミン注射液 10 mg

… 製造の継続が困難な為

※院内在庫終了と共に、採用削除。

【薬価】 95.00 円/A

2024年9月現在、残 10 A

②リトドリン塩酸塩点滴静注液 50 mg 「F」

… 諸般の事情。

※院内在庫終了と共に採用削除。

【薬価】 200.00 円/A

2024年9月現在、残 50 A

③イメンドカプセル 80 mg

イメンドカプセル 125 mg

… 製造元での製造中止の為

※イメンドカプセル 80 mg・125 mgは、後発医薬品であるアプレピタントカプセル 80 mg・125 mgへ採用切り替え済み。

【薬価】 1,700.70 円/Cap

【薬価】 2,562.50 円/Cap

④プロイメンド点滴静注用 150 mg

… 製造元での製造中止の為

※院内在庫終了と共に、採用削除。

【薬価】 10,068.00 円/V

2024年9月現在、残 5 V

※ 院内在庫終了までは、処方入力可能です。使用できる患者様がいらっしゃれば、ご処方ください。

2. 出荷停止

①ファーストシン静注用 1g

… 製造継続が困難な為。2024年11月頃在庫消尽のみ込み。

※ファーストシン静注用 1g は、院内在庫終了後に採用削除。

セフェピム塩酸塩静注用 1g 「サンド」へ採用切り替え。

2024年9月現在、残 50 V

②セフトジジム静注液「VTRS」 1g

… 生産工程での問題発生あり、原因特定に時間を要する為。

※0.5g 製剤は、限定出荷。

※納品状況により、必要に応じて処方量低減のご協力をお願いします。

③フロセミド細粒 4% 「EMEC」

… 原薬の入荷遅延の為、8月下旬より出荷停止。

※9月末には出荷の予定であり、当院に影響は無い見込み。



3. 出荷調整

①大塚生食注 2ポート 100mL

… バッグ製剤の出荷調整に伴い需要増加あり、現状での生産能力の限界に達している為。

※不足の際には、生食 100mL を使用し、シリンジを用いての溶解となります。

納品が滞った際にはお知らせしますので、ご協力下さい。

9月27日現在、納品の滞りはありません。

②インスリンリスプロ BS 注ソロスターHU[サノフィ]

… 市場環境での継続的な需要増加の影響。

※既存の使用量では納品されていますが、処方量増加には対応できません。

必要量での処方に留めて頂きますよう、ご協力をお願いします。

③ソル・コーテフ注射用 100 mg

… 本製品の中間製品の製造を行う海外製造所における、製造可能な数量への制限に加え、他社の同種同効薬の販売中止等の影響。

※納品状況により、必要に応じて処方量低減のご協力をお願いします。

④リパクレオンカプセル 150 mg

… 需要増加に伴い、安定供給に支障あり、在庫偏在防止の為。

※処方されている医師・科へは、処方量低減を依頼済み。

卸変更による過少な割り当て量も考慮頂き、メーカーから卸への納品は若干増やして頂いてはいるが、依然、潤沢な納品量とは言えません。

引き続き必要量での処方に留めて頂きますよう、ご協力下さい。

⑤フェロ・グラデュメット錠 150 mg

… 現行の製造所からの安定供給が困難であり、新たな製造所先を検討中。

※既存の使用量では納品されています。

納品状況に応じ、必要に応じて処方量低減のご協力をお願いする可能性があります。

クエン酸第一鉄Na錠 50 mg 「サワイ」等の使用もご検討下さい。

⑥エリスロシンW顆粒 20%・錠 200 mg

… 製造所からの出荷遅延の為。

※顆粒・錠剤共に、既存の使用量では納品されています。

⑦キシロカインゼリー2%

… 需要増加に加え、製造工程における逸脱発生の為、調査対応の為、製造を停止。現在、製造は再開されたものの、需要に見合うだけの在庫の確保ができていない為。

※既存の使用量では納品されています。



医薬品の不足で、ご迷惑をおかけします。
処方の際は、必要量に留めて下さい。
状況により、他剤・他の治療への変更もご検討下さい。
ご協力をお願いします。

4. 出荷調整解除

①プロポフォール静注 1%100mL 「マルイシ」 (通常流通品)

… 8月1日より

②クラフォラン注射用 1g

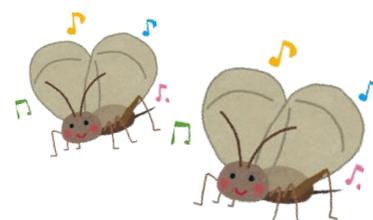
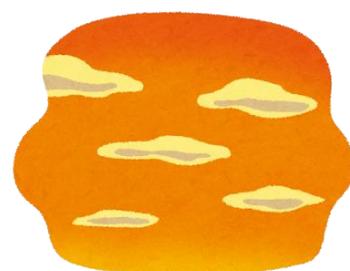
… 7月22日より

③ヒューマログ注製剤

… 8月21日より

④ジェブタナ点滴静注 60 mg 1.5mL

… 9月10日より



5. 販売名変更

①乳酸カルシウム「ケンエー」 → 乳酸カルシウム水和物「ケンエー」原末

2024年8月以降で出荷予定。

6. 販売移管

①ベルソムラ錠 15 mg・20 mg

MSD → 第一三共 2024年10月1日～

②リスモダンR錠 150 mg

クリニジェン → チュプラファーム 2024年11月5日～



7. カルバゾクロムスルホン酸Na錠 30 mg「日医工」の採用切り替えについて

→ カルバゾクロムスルホン酸Na錠 30 mg「トーワ」へ採用切り替え。

※2023年4月に、出荷停止。5月より、院内処方においてはアドナ散に切り替えて対応中。
現在の流通状況を確認し、依然出荷調整中ではありますが、メーカー・流通共に問題ない
為、採用を切り替えます。

錠剤での処方入力を可能としますが、引き続き必要量での処方に留めて頂きますよう、
ご協力下さい。

8. 採用形態の変更について

下記記載薬品の採用形態について検討。処方科に確認の上、下記のように変更。

2024年9月現在保有在庫

①院外限定へ

・エストリール錠 1 mg	90 錠
・カバサール錠 1.0 mg	60 錠
・プレマリン錠 0.625 mg	130 錠
・マイテラーゼ錠 10 mg	80 錠
・ルトラール錠 2 mg	- 錠
・アスベリンシロップ0.5%	100 mL
・スピロペント錠 10 µg	25 錠
・マクサルト RPD錠 10 mg	1 錠
・フィコンパ細粒 1%	- g
・ムコスタ点眼液 UD2%	20 本
・ユベラ軟膏	5 本
・イトラコナゾール錠 100 mg「日医工」	28 錠
・ケタスカプセル 10 mg	90 錠
・ハイシー顆粒	450 包

②削除

・ロイコン錠	60 錠
・テプレノン細粒 0.5g/包	- 包
・メロキシカム錠 10 mg「NP」	140 錠
・ニフェジピン細粒 1%「ツルハラ」	300 包
・アザクタム注射用	- V
・アミサリン注 200 mg 10% 2mL	- A
・アラセナA点滴静注用 300 mg	- V
・シベレスタットNa点滴静注用 100 mg「VTRS」	- V
・ハベカシン注射液 200 mg	- V
・ヒルトニン注射液 2 mg 1mL	3 A
・抗D人免疫グロブリン筋注用 1000倍「ベネシス」	1 V

※院内保有在庫の終了後・使用期限経過後に、採用形態を変更します。

院内在庫終了迄は、処方入力を可能としていますので、ご活用下さい。

【薬事委員会からのお知らせ】

… 医薬品の採用申請にあたっては以下の点にご注意下さい。

- ◆薬事委員会へ提出する申請書は、2024年6月に変更されている「新書式の申請書」で提出して下さい。※古い書式の申請書を使用の場合、再提出をお願いすることとなります。
- ◆医薬品採用の申請にあたっては、今一度、電子カルテのトップ画面上部にある、**【A 病院 規定・各種マニュアル等 → 熊本労災病院規定集 → 60 薬事委員会規定 → 60-2 薬事委員会規定細則】**を参照下さい。
※5月の医局会、また、院内メールでも各先生方へはお知らせ済みです。
(本採用薬品の申請の際には、①1増1減を基本とする、②1件/月以上の使用を見込めること等規定されています。)

